



# FSCだより

北里大学獣医学部 附属フィールドサイエンスセンター

第41号 2011. 6.13

## FSCの設立趣旨

土地、植物、動物及びそれらを取り巻く環境を生命系として教育・研究を行うとともに、これらの研究成果を通して、広く地域社会の発展に寄与することを目的とする。

## 十和田農場から ヤギとヒツジ

十和田農場では毎年3月から4月にかけてヤギとヒツジの分娩が始まります、今年分娩頭数はヒツジが8頭、ヤギが10頭です。そのうちの1頭の親ヒツジが3子を産みました、3子の1頭は体が小さく虚弱で先に産まれた2頭にくらべても体格も体力的にも劣っていて、人工哺乳を検討しなければいけない状況になっていました。その数日後に1頭のヤギの分娩が始まり、双子だったのですが難産で子ヤギは2頭とも死産でした。そこで子ヤギを死産で亡くした親ヤギに、虚弱な子ヒツジを里子として預けてみたところ、最初の頃は親ヤギが見慣れない黒い顔の変わった子ヒツジを近くに寄せ付けず、ミルクを飲もうとする子ヒツジを蹴飛ばして乳を与えるのを避けていました。しかし、子ヒツジは生きようと必死でヤギの乳房目指して突進していきましました。そうして1週間が過ぎる頃には、親ヤギは諦めたのか、自分の子供と認識したのかはわかりませんが、子ヒツジの執念が勝って、今では本当の親子の様に、どこへ行くのにも一緒に行動しています。農場ヤギ舎の、この異色な親子関係が学生の間で密かに話題となっています。購読者の皆さんも機会があれば農場に見学に来てください。晴れた日には親子そろって外に出ていますよ。



## 八雲牧場から 寶示戸雅之先生来場

1月20日に行われた農業生産地球温暖化対策事業に係わる八雲町環境保全型農業推進事業協議会主催の勉強会に次期センター長に着任される寶示戸雅之先生を講師としてお迎えしました。

会議終了後には、焼肉舎ふるやにて八雲町環境保全型農業推進事業協議会と北里八雲牛普及推進会議の合同による北里八雲牛の試食会を行い、八雲町内の乳肉牛生産農家および農業機関関係者が参加されました。会の初めに、次期八雲牧場長、FSCセンター



長として寶示戸雅之先生が紹介されました。試食会は北里八雲牛を八雲町農家に普及していく「放牧牛肉の乳肉連携生産振興」の第一歩として催しで、北里八雲牛の肩ロースしゃぶしゃぶとりブローズ焼き肉、レバー、モツなどが振る舞われ、「赤身のあっさりした味が食べやすい」「レバーがとても美味しい」など、評判は上々でした。現在、町内の農家で生産されているの北里八雲牛は、10頭を超え、今後さらに協力農家が増える事を期待しています。

### 農業生産地球温暖化対策事業中間報告会

1月28日に東京の教育会館で行われた中間報告会に、八雲町環境保全型農業推進事業協議会代表として小野係長が参加し、報告を行ないました。

### 「八雲町さむいべや祭り」に出展

去る2月6日、北里大学保健衛生専門学院と共同開発した「和」の販売活動を行いました。パネルやパンフレットを持参し、八雲町民や町外からの来場者へ八雲牧場の取り組みについての広報も行いました。

### 大阪高島屋「大学は美味しいフェア」出展中止

3月16日～21日に行われた大阪高島屋「大学は美味しいフェア」への本学の出展が1日に起きた東日本大震災影響で中止となりました。また、高島屋にて販売予定であった加工品は、全てを震災により被災した海洋生命学部へ支援物資として提供することになりました。

### 循環型畜産研究会成果報告会

3月17日に循環型畜産研究会の成果報告会が開かれました。例年、八雲から学部で行われる報告会に報告のため出張するのですが、今年は震災の影響を受け停電、燃料不足等が起きている十和田への出張を自粛する方向で進めてきました。しかし、獣医生理学研究室の米澤先生の発案でスカイプを用いたネットミーティングの形で試験的に参加しました。まだまだ改善点はある様ですが、4名、5課題の発表を行うことができました。

### 大学院生卒業

石巻専修大学を卒業後、本学獣医学研究科修士課程の大学院生として入学し、八雲牧場において1年半の修士論文の研究してきた長谷川優さんが無事課程を修了し、3月26日に八雲を去りました。1年半八雲で学んだことを社会で生かしてくれることを期待しています。

### 雪どけ

今年は雪融けが遅く、例年であれば3月も半ばを過ぎると牧場内は融雪水の流水音が聞こえる時期ですが全く聞こえてきません。八雲の春はまだ遠いようです。

### 松本英典技能主任の退職

八雲牧場の黒柱的存在であった松本英典氏が、3月31日を持って定年退職をむかえられました。28年にわたる長い年月を牧場と実習所の兼務職員としてご尽力いただいたことに感謝申し上げます。いつまでも松本さんに頼ってはいけないと思うのですが、今年度より嘱託職員として引き続き牧場と実習所で仕事を続けていただけるといふ報告を受けホッとしているところです。これからも宜しくお願いします。(八雲牧場職員一同)